

令和6年度 立川市立第六小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎考える子 ○思いやりのある子 ○元気な子
---------	-----------------------

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本を身に付け、よく考え、自分からすすんで活動する子（考える子） ○健全な人権感覚をもち、温かい心で支え合う子（思いやりのある子） ○自他の生命と安全に関心をもち、心身ともに健康で明るい子（元気な子） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「立川市民科」に取り組み、教科横断的な学習を図る。 ・校内研「より良い道徳の授業作り」の実践の中で、子どもの思考を高める発問の工夫に取り組む。 ・「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善を図る。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組 (学習活動など)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○考えたことや伝えたいことなどを的確に話す力や相手の意図をつかみながら聞く力、計画的に話し合う力を身に付ける。 ○筋道の通った文章となるように、粘り強く文章全体の構成を考える力を身に付ける。 ○文の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解する力を身に付ける。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力を身に付ける。 ○相手や場面に応じて適切に敬語を使える力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す内容の構成の仕方について系統立てて指導し、自分の立場や結論が明確になるよう構成を考える時間を十分確保することで、自分の考えや伝えたいことを話すことができるようにする。 ・文章全体の構成を工夫したり、理由や事例を明確にしたりする指導を通して、自分の考えを筋道立てて書くことができるようにする。 ・1単位時間の授業でねらいや活動を絞って指導することで、読みの観点を焦点化する。 ・読みの観点（作品設定、視点、表現技法、主題など）を系統的、段階的に指導する。 ・写真、挿絵、センテンスカード、動作化、劇化、図解、ICT教材など視覚的な手がかりを効果的に活用し、学習課題に沿った自分の考えをまとめることができるようにする。 ・生活場面での言葉使いを取り上げながら継続的に学習し、活用できるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象について、理解する内容を自ら系統的・段階的に整理し、それを習得する力を身に付ける。 ○教科書及び地図帳や地球儀、年表、資料集、ICT教材等を用いて調べ学習を行うことで、資料を適切に選び、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ○社会的な見方・考え方を働かせ、文章や図表を使って考えを説明したり、根拠や理由を明確にして議論したりする力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地理分野の単元のまとめに、東京ベーシック・ドリル等を活用し、学習の定着を図る。 ・身近な題材を教材化したり、教師が使用する資料を精選したりし、資料をしっかりと読み取る活動を取り入れる。 ・資料から読み取るだけでなく、なぜそうなったのか時代背景を考えさせたり、複数の資料を関連付けて共通するキーワードを考えさせたりする活動に取り組めるようにする。 ・調べたことを基に、分かったことや気付いたことをグループで交流する。グループで話し合った具体的内容をホワイトボード等にまとめ、まとめた内容を全体の場で説明させ、共有する活動を取り入れる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の基礎・基本的な知識・技能を身に付ける。 ○文章から正しい演算決定ができる力を身に付ける。 ○問題を解決するために、場面に応じて必要な数量やその関係を捉え、図や式などに表したり、答えを求めたりすることができる力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを言葉や式、図、表、グラフ等を使って、ノートにまとめる活動を多く取り入れる。 ・ICT機器を活用して、自分の考えを表現したり、伝え合ったりするなどの学習活動を取り入れる。 ・毎週金曜日の朝学習で、東京ベーシック・ドリルに取り組みさせる。また、学期に一度、診断テストを行い、学習の定着状況を把握する。 ・計算ドリルや東京ベーシック・ドリル等を繰り返し活用し、学習の定着を図る。 ・線分図、テープ図、数直線図、4マス関係図などを用いて数量関係を明瞭化させ、問題を処理する力を高められるようにする。 ・文や図、表、グラフなどを活用して自分の言葉で表現し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする時間を十分に確保する。 ・データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、必要な情報を読み取る力や、日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解を図る。 ・図や式などを用いて、基準量と比較量の関係を理解させ割合の関係を表す力を身に付けられるようにしていく。 ・数量や図形についての感覚を豊かにしたり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりできるように、計画的に指導する。

理科	<p>○観察、実験などを行い、器具や機器などを目的に応じて工夫して扱うとともに、観察、実験の過程やそこから得られた結果を適切に記録したり、表現したりする力を身に付ける。</p> <p>○観察、実験などを行い、問題を解決しようとする力を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPCを活用し、実験器具の扱い方などの習熟を図らせる。 ・実験に関わる学習については、「課題→予想→実験・観察→結果→考察→まとめ」を学習過程とした指導を行い、授業改善を図る。 ・問題解決の過程において、プログラミング的思考力を育成し、児童一人一人の学びが一層充実するものとなるようにする。 ・実験の学習場面では、予想した内容に即した実験方法別にグループを構成し、自然の事物・現象と他者の考察した内容から、自分の考えを広げたり、深めさせたりするなどの活動を取り入れることで、他者との違いや、共通点を捉える力を身に付けられるようにする。
生活	<p>○社会及び自然に直接関わることで生まれる一人一人の気付きを共有し、自分の考えを深める力を身に付ける。</p> <p>○自分の生活について考え、表現する力を身に付ける。</p> <p>○自分を取り巻く環境を意識し、興味をもったことを調べたり、新しい事に意欲的に取り組んだりする力を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる意見や考えを知り、体験した事柄を伝え合うなど、交流する活動を意図的に設ける。 ・目的に合った表現形態（絵、新聞、ポスター、劇等）を児童自らが考え、工夫できるように、それぞれの学習の観点を明確にした指導を行う。 ・活動に見通しをもたせ、意欲や関心を継続できるように、他学年との交流活動や体験的な学習を取り入れた指導を行う。
音楽	<p>○音色、リズム、旋律などと曲想との関わりを理解し、音を合わせて演奏したり、声の響きが重なる面白さを生かして歌唱したりする力を身に付ける。</p> <p>○音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴く力を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技能を身に付けるためのポイントを明確に示し、スモールステップで取り組むことができるようにする。 ・歌詞の内容や曲想について理解し、思いや意図をもって表現ができるよう、発問の工夫をする。 ・鑑賞の活動を通して、曲や演奏のよさなどを見いだすことができるように、ワークシートの工夫をしたり、様々なジャンルの音楽・楽器に触れさせたりするなど、指導の工夫をする。
図画工作	<p>○材料や用具の特徴を理解し、つくりたいものに合わせて材料や用具を選ぶなど、工夫しながらつくる力を身に付ける。</p> <p>○自分のイメージを色や形で表現することができ、どのようなものをつくりたいか発想力を身に付ける。</p> <p>○自分や友達作品のよさや面白さを感じ取る力を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた授業準備を行い、新しい材料や用具と出合うときには、試したり、慣れたりする時間を十分に確保する。 ・一人一人の児童のアイデアを実現させるため、試行錯誤することができるよう、様々な用具や材料の準備をする。 ・友達と作品を見合ったり、アドバイスしたりする時間を設けたり、ワークシートの工夫をしたりして感性を育み、表現する力を付ける。
家庭	<p>○調理や製作に関する基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、生活に活かすことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な材料や用具を使いやすいように教室に配置する。また、用具の名前や使い方、作り方が分かるように、拡大したイラストや写真、段階見本などを掲示する。 ・技能を身に付けるためのポイントを明確に示し、スモールステップで取り組むことができるようにする。また、タブレットPCを活用し、細かい動きが理解できるようにする。
体育	<p>○体力向上を図るとともに、走力や持久力、瞬発力、跳躍力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時のウォーミングアップに、鬼ごっこやしっぽとりなど、フットワークや走る能力を高める運動を取り入れる。 ・縄跳び、持久走など、長時間粘り強く続けていく運動を取り入れる。全校で行う「なわとび週間」「持久走週間」を活用し、持久力や跳躍力を付ける指導を行う。 ・体を移動する運動遊びやハードル走、リズムに合わせた運動など、フットワークや敏捷性を高める運動を取り入れる。
外国語	<p>○外国語に興味を持ち、基本的な技能を身に付ける。</p> <p>○初めに、単元のゴールを提示し、単元の前半で獲得した語彙やセンテンスを使って、自分の考えや思いを、自信をもって表現する力を身に付けるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを視覚化し、見通しをもたせる。「グリーティング」「ウォームアップ」→「アクティビティ」→「レビュー」「グリーティング」という手順で授業を展開し実際のコミュニケーションにおいて活用できるようにする。 ・身近な題材を教材化したり、タブレットPCを活用したりするなど、児童が意欲的に活動し、視覚的に理解しやすくする。 ・自分の気持ちや、考えを伝え合う言語活動を毎時間設けることで、児童が主体的に取り組めるようにする。 ・毎時間のめあてをはっきりさせ、学習を振り返ることで、その時間にどんな力を身に付けたかを一人一人が意識し、単元終末の言語活動に意図的に取り組めるようにする。